

ポスター・セッションの試行について

講演企画委員会

1. はじめに

「天気」10月号にお知らせしましたポスター・セッションのアンケートに、名古屋の秋季大会参加者を中心に100名を越える方から御回答をいただきました。アンケートの回答をみますと、ポスター・セッションの導入に関しては「一般的には賛成」という方が多数でしたが、アンケートで提案した試行案については強い反対意見が多くありました。講演委員会ではこの結果を踏まえ、次のような基本案でポスター・セッションを試行することにしました。

- (1) 希望者による自由応募とする。
- (2) ポスター・セッション中は口頭発表は休憩とする。
(並行して行わない)
- (3) ポスター発表者には、口頭発表の会場で概要紹介の機会を与える。

以下にアンケートの回答結果および、新しい試行案について説明します。

2. 「ポスター・セッションに関するアンケート」集計結果

名古屋における気象学会秋季大会会場、および「天気」10月号誌上で実施しました上記アンケートにつき、以下のような御回答をいただきました。

アンケート回答総数：109名

内訳：

- 1) ポスター・セッションの経験
 - a) あり 47
 - b) なし 61
- 2) 現行の口頭発表時間 (10~12分) について
 - a) 短い 64
 - b) 丁度良い 40
 - c) 長い 2
- 3) ポスター・セッション導入に関して一般的に
 - a) 賛成 80
 - b) 反対 9
 - c) どちらでもよい 17
- 4) 講演企画委員会の試案による導入に関して
 - a) 賛成 74

- b) 反対 13
- c) どちらでもよい 20

同時に御記入いただきました付帯意見にみられる傾向をまとめてみますと、以下のようになります。

- * 現行の口頭発表時間を「短い」とするものでは、討論時間の不足、背景説明に十分な時間が取れないといった点を指摘するものが多い。一方「丁度良い」とするものでは、限られた時間で要領良くまとめることも発表者の務めであると指摘されている。
- * ポスター・セッションの導入に関しては「一般的には賛成」というのが、回答者の大方の意見である。ポスター・セッションの長所を認識したうえで、積極的に導入を勧める意見も多い。
- * 講演企画委員会の試案による導入に関しても「賛成」とする回答が多数である。但し、これらの回答の多くのものには付帯意見が述べられており、種々の注文がついた。代表的なものとしては「口頭発表と同時に並行させることには反対」というものが多く、また一分野の発表を全てポスターとすることには、試案に「賛成」とした回答者の中にも反対意見を述べる者が多い。

3. 昭和62年春季大会(筑波)におけるポスター・セッションの試行について

アンケートの結果からは、ポスター・セッションの導入については一般的な賛成は得られたが、講演企画委員会の試案通りに行うのは適切ではなく、もっと多数の会員の方の賛成と協力が得られる案にすべきであると考えられます。来年の春季大会の担当である筑波大学の方とも協議の上、発表者の希望を尊重し自由応募とする、ポスター・セッションのメリットをできる限り出す、という立場にたつて、以下の要領でポスター・セッションを実施します。詳細は「春季大会の告示」欄の「ポスター・セッションの方法」の項を参照してください。

- * 口頭またはポスターの発表形式は発表者の選択とし、講演申込みの際に希望部門とともに、(1) 口頭発表、(2) ポスターによる発表、(3) どちらでもよい、のいずれかを選択する。
- * 予稿集などその他の申込み方法は従来通り。
- * 大会第1日の午後3時頃より概要紹介を行い、引き続

きポスターの前で説明および質問に答える。

- * ポスター・セッションはおよそ1時間でこの間は口頭発表は休憩とする。
- * 概要紹介は、直前の口頭発表のセッションで発表者自身が行う。時間は2分間。
- * 発表者は概要紹介のあと、少なくとも30分間ポスターの前で説明を行う。
- * ポスターは事務局の指定した場所に当日の朝より終日掲示する。また掲示板に余裕があれば大会期間3日間を通じて掲示することもできる。
- * ポスターの掲示および撤去は発表者自身が行う。
- * 掲示板は90cm(縦)×180cm(横)である。

4. おわりに

今回のアンケート実施については、「天気」発送の都合で学会員全体を網羅する時間的余裕が十分に取れなかったことが、反省点として残りました。しかしながら名古屋の大会に参加された方を中心として多くの積極的な御意見をいただき、大会参加者の意向を知るうえでは貴重な資料となりました。アンケートに御協力くださった方に感謝いたします。

ポスター・セッションが成功しますよう、今後とも会員の皆様の積極的な御協力を期待しています。

ポスター・セッションとは

ポスター・セッションは、発表者がその発表内容をポスターにして、掲示板に張り出し他の人がそれを見てまわるといふものです。発表者は一定時間ポスターの前に立ち、見に来た人に内容を説明し質問に答えます。8月の数値予報国際シンポジウムや他の学会の大会などでご

存じの方もおられると思います。

ポスター・セッションの特徴は次のようなものです。

(1) 時間をかけ細かな質問や議論ができる。

口頭発表では質問時間に制限がありますが、ポスターセッションでは発表者と1対1で、密度の濃い質問や議論ができます。

(2) 見る人の数が限られる

逆に口頭発表なら一度に多数の聴衆にきいてもらえますが、ポスター・セッションではどうしても少数の人と議論することになります。しかし本当に関心のある人にはゆっくり見てももらうことができます。また簡単な資料をその場で配布したりもできます。

(3) 図の同時比較などができる。

スライドやOHPによる口頭発表では図が短時間にどんどん変わるので、図の比較が割と大変です。ポスター・セッションでは一つの掲示板に複数の図が載せられるので、同時比較が容易にできます。

また、同じテーマについて複数の発表があった場合にも、ポスター・セッションなら複数のポスターを見てくらべることができます。

(4) ポスターのスペースが十分でない

発表者は内容をよく要約して限られたスペースにおさめなければなりません。ポスターのデザインを工夫して見る人にアピールするようなものを作るのは発表者の腕次第です。

このようにポスター・セッションの最大の長所は、口頭発表とちがって、発表者と見る人との間で充実したコミュニケーションを行えることです。